



新幹線乗務員が休めない！

強制的に出向や転勤させた乗務員を戻せ！

新幹線乗務員が新型コロナ感染等で100名近くが連日休んでいる状況が続いています。そのため要員を確保するために、休日返上で7日間から10日間の連続勤務を強いられている乗務員が7月から多く発生しています。さらにこのまま夏季輸送・お盆輸送をむかえる状況が続くと、乗務員の健康と輸送の安全が損なわれかねません。

新幹線地本は、本日会社に対して、認識と対策について質しました。そして、昨年から「54歳原則出向」という本人の合意のない強制出向や、根拠のない強制転勤などで乗務員職場から出された社員を復帰させて乗務させることを要求しました。

会社は、「対策は検討している。ご意見としては伺っておく」という消極的な回答でお茶を濁しましたが、安全に関わる重大な問題であり新幹線地本は今後も有効な対策を強く要求していきます。

(主なやり取りは以下の通りです)

組合：新幹線乗務員が新型コロナ感染等で多くが休んでいて、休日無しで7日間から10日間の連続勤務をこなしている人が多く居る状況が7月以降続いている。このような状況は組合として看過できない。会社としてどのように考えているのか、対策は考えているのか。

会社：人数は今持ち合わせていないが、多く(休んで)いる事は把握している。対策も検討している。

組合：非現業などから転勤などは考えているのか。

会社：免許を持ってるのが今は乗務していない人たちや非現業などが対応出来るように準備する事は考えている。それは転勤ではなく、一時的な対応としての助勤のようなイメージは考えている。

組合：昨年からの54歳原則出向で出された人や、転勤させられた人・淵上さんなどはすぐに使える。こういう人達を戻してはどうか。組合として要求する。

会社：要員需給として考えることなので、それは別の事であると考えます。

組合：休み無しで7日も10日も働かせるのは問題。出向者などを戻して対応すべきである。

会社：そういうご意見があったということは伺っておく。